

鉄軌道駅の段差への対応状況

平成18年3月31日現在

事業者名	総駅数	1日あたりの平均利用者が5千人以上の駅数	移動円滑化基準第4条に適合している駅数 ()内の数字は、移動円滑化基準第4条に適合していないが段差を解消している駅数を含む					
			うち5千人以上の駅数		5千人以上の駅に対する割合(%)			
JR北海道	465	30	29	(32)	18	(21)	60%	(70%)
JR東日本	1,688	469	508	(513)	284	(287)	61%	(61%)
JR東海	397	84	73	(145)	47	(47)	56%	(56%)
JR西日本	1,207	285	293	(383)	151	(154)	53%	(54%)
JR四国	258	7	28	(136)	4	(6)	57%	(86%)
JR九州	555	65	71	(93)	34	(36)	52%	(55%)
JR旅客会社6社 小計	4,570	940	1,002	(1,302)	538	(551)	57%	(59%)
東武鉄道	196	111	59	(68)	52	(53)	47%	(48%)
西武鉄道	90	76	58	(67)	55	(63)	72%	(83%)
京成電鉄	64	48	22	(24)	21	(22)	44%	(46%)
京王電鉄	68	64	40	(40)	39	(39)	61%	(61%)
小田急電鉄	70	67	63	(64)	62	(63)	93%	(94%)
東京急行電鉄	88	87	79	(79)	78	(78)	90%	(90%)
京浜急行電鉄	71	70	30	(30)	30	(30)	43%	(43%)
相模鉄道	24	23	17	(17)	16	(16)	70%	(70%)
名古屋鉄道	279	74	72	(167)	24	(34)	32%	(46%)
近畿日本鉄道	327	121	94	(245)	54	(88)	45%	(73%)
南海電鉄	113	51	24	(35)	20	(22)	39%	(43%)
京阪電鉄	84	57	37	(43)	30	(34)	53%	(60%)
阪急電鉄	84	82	53	(61)	53	(61)	65%	(74%)
阪神電鉄	41	34	27	(27)	23	(23)	68%	(68%)
西日本鉄道	80	23	22	(62)	14	(18)	61%	(78%)
大手民鉄15社 小計	1,679	988	697	(1,029)	571	(644)	58%	(65%)
東京地下鉄	140	140	18	(80)	18	(80)	13%	(57%)
札幌市	46	46	17	(39)	17	(39)	37%	(85%)
仙台市	17	16	17	(17)	16	(16)	100%	(100%)
東京都	96	96	21	(59)	21	(59)	22%	(61%)
横浜市	32	30	24	(30)	22	(28)	73%	(93%)
名古屋市	81	77	55	(56)	53	(54)	69%	(70%)
京都市	29	26	29	(29)	26	(26)	100%	(100%)
大阪市	93	93	75	(77)	75	(77)	81%	(83%)
神戸市	26	21	20	(22)	15	(17)	71%	(81%)
福岡市	35	23	35	(35)	23	(23)	100%	(100%)
地下鉄10社局 小計	595	568	311	(444)	286	(419)	50%	(74%)
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	6,844	2,496	2,010	(2,775)	1,395	(1,614)	56%	(65%)
中小民鉄、路面電車 小計	2,652	275	672	(1,173)	165	(186)	60%	(68%)
鉄軌道全体 合計	9,496	2,771	2,682	(3,948)	1,560	(1,800)	[49%]	[(61%)] 56%

注) 1. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み、全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、別駅として計上している。

2. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。

3. 「移動円滑化基準第4条に適合していないが段差を解消している駅数」とは、移動円滑化基準に適合していないエレベーターやスロープも含め、段差を解消した経路を1以上確保されている駅数及び5千人以上の駅に対するその割合を示す。

4. []内は平成16年度末の数値。

鉄軌道駅のエレベーター・エスカレーター整備状況

平成18年3月31日現在

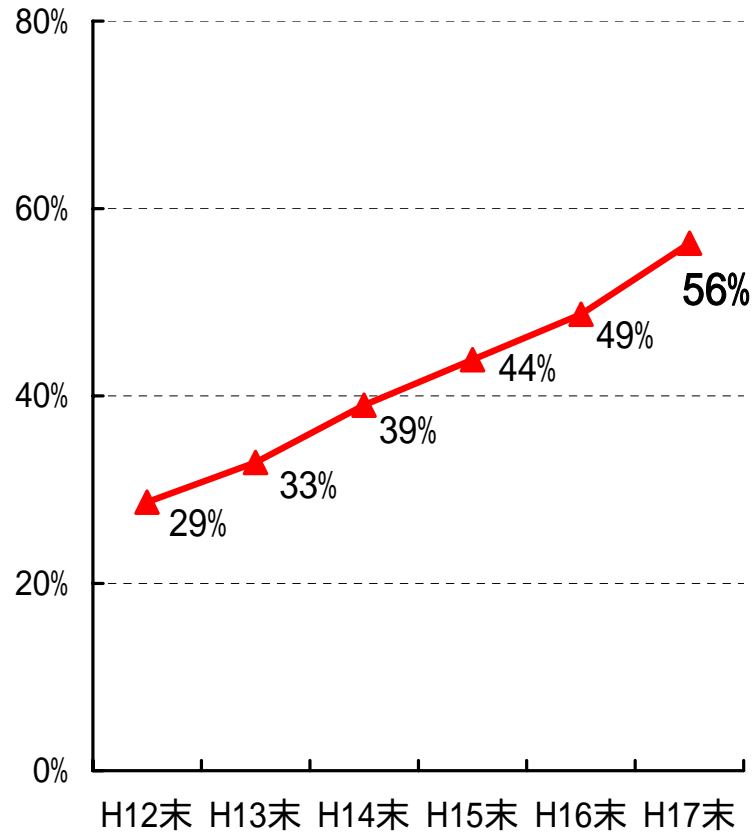
事業者名	総駅数	1日あたりの平均利用者数が5千人以上かつ高低差5m以上の駅数	エレベーター(Ev)を設置している駅数			エスカレーター(Es)を設置している駅数		
			うち5千人以上かつ5m以上の駅数	5千人以上かつ5m以上駅に対する割合(%)	うち5千人以上かつ5m以上の駅数	5千人以上かつ5m以上駅に対する割合(%)		
JR北海道	465	25	24	17	68%	19	13	52%
JR東日本	1,688	349	287	213	61%	317	272	78%
JR東海	397	82	52	48	59%	42	40	49%
JR西日本	1,207	215	177	145	67%	101	91	42%
JR四国	258	5	8	2	40%	5	3	60%
JR九州	555	45	49	27	60%	30	22	49%
JR旅客会社6社 小計	4,570	721	597	452	63%	514	441	61%
東武鉄道	196	91	51	45	49%	70	65	71%
西武鉄道	90	51	44	40	78%	43	37	73%
京成電鉄	64	39	20	18	46%	29	26	67%
京王電鉄	68	41	36	33	80%	29	28	68%
小田急電鉄	70	61	56	55	90%	31	30	49%
東京急行電鉄	88	63	58	54	86%	33	33	52%
京浜急行電鉄	71	56	26	24	43%	29	28	50%
相模鉄道	24	22	15	14	64%	18	17	77%
名古屋鉄道	279	60	38	23	38%	25	23	38%
近畿日本鉄道	327	85	68	50	59%	78	62	73%
南海電鉄	113	40	20	18	45%	26	25	63%
京阪電鉄	84	36	26	24	67%	29	28	78%
阪急電鉄	84	59	45	44	75%	37	37	63%
阪神電鉄	41	28	22	19	68%	24	21	75%
西日本鉄道	80	15	15	12	80%	12	9	60%
大手民鉄15社 小計	1,679	747	540	473	63%	513	469	63%
東京地下鉄	140	140	108	108	77%	114	114	81%
札幌市	46	46	40	40	87%	36	36	78%
仙台市	17	16	17	16	100%	17	16	100%
東京都	96	96	66	66	69%	93	93	97%
横浜市	32	30	31	29	97%	26	25	83%
名古屋市	81	77	64	62	81%	78	74	96%
京都市	29	26	29	26	100%	29	26	100%
大阪市	93	93	89	89	96%	92	92	99%
神戸市	26	21	26	21	100%	25	20	95%
福岡市	35	23	35	23	100%	35	23	100%
地下鉄10社局 小計	595	568	505	480	85%	545	519	91%
JR、大手民鉄、地下鉄 小計	6,844	2,036	1,642	1,405	69%	1,572	1,429	70%
中小民鉄、路面電車 小計	2,652	195	301	137	70%	293	153	78%
鉄軌道全体 合計	9,496	2,231	1,943	1,542	[64%] 69%	1,865	1,582	[70%] 71%

注) 1. 新幹線が乗り入れている在来線の駅であって、在来線の駅を管理する事業者が新幹線の駅も管理する場合、当該在来線の駅に新幹線の駅も含み全体で1駅として計上している。新幹線の駅と在来線の駅を別々の事業者が管理する場合は、駅として計上している。

2. 2以上の事業者の路線が乗り入れる駅であって、事業者間の乗換改札口が設けられておらず、改札内で相互乗換えができる場合は、全ての事業者の駅を含めて全体で1駅として計上している。この場合、代表して1事業者に当該駅を計上している。

3. []内は平成16年度末の数値。

利用者数5千人以上の駅における
段差解消の割合



高低差5m以上かつ利用者数5千人以上の駅における
エレベーター、エスカレーターの設置割合

